

普及活動情勢報告（令和 7 年 4 月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

ユズの安定生産を目指す ～ユズ植付け現地検討会～



研修会の様子

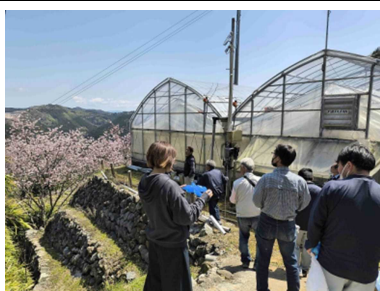
3月28日、高知市土佐山地区において、高知市土佐山柚子生産組合のユズ植付け現地検討会が開催され、生産者9名が参加しました。

普及所からは、植付け前の準備、植え方、1年生苗の切り返し位置などの作業ポイントを説明し、実際に苗の植付けのデモンストレーションを行いました。

参加者からは、肥料の量や接ぎ木の方法などについて質問があり、活発に情報交換が行われました。

今後も普及所ではJ A、市と連携し、新植や老木からの改植により、産地の生産力向上に向けた支援に取り組んでいきます。

ミョウガの栽培技術向上に向けて ～高知市ハウスミョウガ現地検討会～



研修会の様子

4月4日、高知市土佐山地区において、J A高知市土佐山ハウス茗荷生産組合の現地検討会及び研修会が開催され、生産者15名が参加しました。

普及所からは、現在の生育状況及び今後の栽培管理について指導し、また、現在行っている土壌水分調査などの途中経過を報告しました。

参加者は、かん水方法などの栽培管理や、夏期の高温対策について活発に意見交換を行うなど、栽培技術向上に向けた意識の高さがうかがえました。

普及所は今後もJ Aと連携し、産地の生産力向上に取り組んでいきます。

新品種の適正は？ ～水稻奨励品種決定試験ほ設置～



田植えの様子

4月8日、高知市高須において、水稻奨励品種決定試験ほを設置しました。当日は、普及所とJ A高知市の職員で、試験品種の‘高育85号’、‘高育86号’、‘高育87号’対照品種の‘フクヒカリ’などを植え付けました。今後は生育・収量調査を行い、試験の途中経過及び結果を現地検討会や研修会等で報告する予定です。

普及所は、今後も産地に適応した品種の選定と普及推進に取り組んでいきます。

新メンバーで新規就農者を支援 ～ J A 高知県春野新規就農者支援チーム会～



新たなチーム員

4月16日、J A 高知県春野営農経済センターで新規就農者支援チーム会が開催され、関係機関13名が参加しました。

チーム会では今年度の年間計画を協議し、就農相談や研修生、新規就農者の状況について共有し、引き続き支援していくことを確認しました。

普及所からは、令和4年度に作成した産地提案書の改訂を提案し、今年度のチーム会で取り組むこととなりました。

今後も普及所はキュウリ産地の維持・強化に向けて新規就農者の支援に取り組んでいきます。

排水性の改善に向けて ～春野キュウリ部会勉強会～



勉強会の様子

4月22日、春野キュウリ部会が昨年度に暗渠を設置したほ場で暗渠排水をテーマとした勉強会を開催し、生産者9名が参加しました。

普及所は、暗渠工事前のほ場の様子や排水性の改善について、タブレットで動画を見せながら説明しました。

参加者は暗渠の設置に係る経費などについて意見交換を行い、高い関心を持っているようでした。

普及所は今後もJ Aと連携し、産地の生産力向上に向け支援していきます。

